

善養寺便り 第二十四号

令和五年 初夏号 発行 善養寺

令和五年、当山の六月までの活動状況

三月四日(土)前住一周忌法要 (命日は二日)

行事ではありませんが、前住、善衛院釋茂進江尻茂の一周忌を勤めました。御導師光源寺様はじめ、ご法中、親戚法中の十三人の僧侶により法要が勤まりました。



親戚他、役員の方にも全員出席していただき、総勢四十人を超える法要でした。

みほとけとなられた前住のおはたらしにより私ども皆でお念仏を唱えさせていただいたのでした。

仏婦会員になっていただければ有り難いです。

春のお彼岸善養寺墓苑彼岸会 三月二十一日(火)

今年も当山墓苑にて、春のお彼岸会が勤まりました。この法会に合わせて、多くの家族の方がお参りいただき、各家の墓前で読経いたしました。

当山墓地は、私が子供の頃は、昼でも暗いような藪の中にお墓が点在している大変な状況でした。その後徐々に整備が進み、先に東光寺墓地が整備され、平成二十一年に現在のよう墓地になりました。



春の彼岸会はその墓地整備を機縁としてはじまり、お盆の万灯会は平成二十四年から勤めています。

まだ墓地の区画も空いております。また、合祀墓やご夫婦や兄弟、友人同士など二人分だけのお骨を納めるミニ墓がある永代納骨塔もあります。

ご用がありました

令和四年度仏教婦人会第四回仏教講演会

三月六日(月)ご講師 安方 哲爾師(貝塚市)

恒例の安方先生のご法話です。ご案内でも紹介しておりますが、先生は、本願寺派布教使の方々を指導される立場の方で、寺院の間では全国的によく名も知られております。七月、十二月ご講師の谷川弘顕先生も同じお立場の方です。

安方先生は、いつも平易な言葉で、味わい深いお話をされます。

この日も、南無阿彌陀仏のお念仏のいわれについてのお話からはじめられました。

来年も当山にお越しですので、谷川先生のご法座とともに、この貴重なご法縁に一人でも多くの門信徒の皆様にお会いしていただきたいです。



ら、詳しくは、墓苑事務所かお寺までお問い合わせください。

お墓参りで、お墓に手を合わせるとき、その口から出たお念仏が仏様そのものです。お墓にお参りする、家のお仏壇へ手を合わせ、そしてお寺の本堂にお参りする、すべてみほとけのはからいが私に届いているのです。どこでも、いつでもナマンダブツ。そのお念仏そのものが、とても大切な仏縁となります。



令和五年永代経法要

四月二十九日(土)・三十日(日)

ご講師 寺西良夫師(富山県氷見市より)

四月二十九、三十日の二日間、令和五年の永代経法要が勤まり、多くの方にお参りいただきました。

永代経法要は、当山の過去帳に載っております、すべての方を偲ぶ法要であり、さらに今年年回法要が当たっていらっしゃる方の合同の法事でもある、お寺とご門徒



の皆様にとり大変大切な法要です。

ご講師は、富山県氷見市より寺西良夫師にお越しいただきました。師は当山二回目のご縁です。

お話は、生きていくこの今が大切であり、お釈迦様は、仏法に出会うことこそが生きる意味と説かれた、と言うことが中心でした。

皆様はすでに仏法に出遇うていらっしゃる。でも出遇うてこれで終わりでは無論ありません。お念仏を唱え、日々みほとけのお声を聴かせていただきながら過ごすことが有り難いのです。



お昼のお斎（お弁当）

令和五年仏教婦人会総会並第一回仏教講演会

五月二十四日（水）

法話ご講師 長谷都子師（姫路市）

音楽ゲスト 伊藤典芳さん（メゾソプラノ）

満多野志野さん（ピアノ）

五月二十四日、今年の仏教婦人会の総会並びに第一

回仏教講演会を開きました。ゲストは、上の通り昨年と同じお二人です。

今回は、日本の唱歌メドレーに続き、フランスの歌やピアノ曲の披露で、なかでもドビュッシーの「月の光」を生で聴くことができ、大感激でした。何より、満多野さんのようなプロのピアニストに、うちのアップライトピアノで生演奏をしていただける有り難さは格別です。満多野さんは、トークも面白いんです。また是非演奏をご依頼したいと思います。

午後には法話で、今年は砥堀から長谷都子師をお迎えしました。在家からお寺に嫁がれ、様々な困難を経て、ご法義のお育ての中で今日を迎えているという親近感のあるご自身の体験を交えたお話で、皆さん共感されるころもあつたのではないかと思います。



今月のお寺の掲示版の言葉は

「お念仏は苦悩を生きぬく力である」

という言葉を示しています。

浄土真宗のお念仏は、私たちをお救いくださる阿彌陀如来の力・働きが、南無阿彌陀仏のお念仏となって、私に届いてくださいます。

自らの力では決して迷いの世界を脱け出すことの出来ないこの私たちを、悟りの世界に生まれさせてくださる阿彌陀如来のご本願を疑いなく信じる気持ち、すなわち信心が、この世のつらさや悲しみを乗り越えさせてくださるのです。それが生きる力となるのです。

しかし、煩惱に満ち満ちた私たちは、阿彌陀様のご本願をなかなか喜べません。そんなことを阿彌陀様はとっくに見抜いておられます。だからやはりお念仏申し続けるしかないと思うのです。（後住 慶之）

善養寺の最新情報は、ホームページでお知らせします。どうぞホームページをご覧ください。

スマートフォンからでもご覧になれます。

検索 姫路 善養寺

善養寺HPQRコード↓



これからの予定

「第二回仏教講演会」

七月十一日（火）午後一時半から三時頃

ご講師 谷川弘顕師

「盆会・万灯会」

八月十三日（日）十八時より善養寺墓苑

同十五日（火）十時より善養寺本堂

★新企画★ お盆に本堂で「盆踊り」をしませんか。

今年新たな試みとして八月十六日十八日より本堂で盆踊りを計画しています。踊りは、お城祭りでもおなじみの「播州音頭」を、仏婦の皆様にご案内させていただきます。当日参加する方は、必ず「浴衣」を着用してお越し下さい。

また本堂の都合上、定員二十五名とします。

ご希望の方は、是非お早めにお寺まで連絡をお願いします。詳細お知らせします。

「報恩講法要」

十一月一日（水）二日（木）

午後一時半から三時頃

ご講師 朋澤智弘師（島根県）


